

## 令和3年度 活動実績

団体名	特定非営利活動法人 徳島共生塾一步会
-----	--------------------

新型コロナウイルスの本格的な感染拡大により、当会の「世界遺産化に向けた活動」も、自粛を余儀なくされたり、制限等がかかっていた。が、2021年10月、新規感染者数の大幅な減少を契機に、日常生活に「With コロナ」の気運が広まる中、ここをターニングポイントとし、本格的に活動を再開（「受入態勢の整備」部会関係以外の活動も、参考に記載）。

(1) 10月30日（土）

「With コロナ、アフターコロナ」を見据えた「キックオフ・イベント」と位置づけ、**1番霊山寺でお接待を実施。**（世界遺産化の幟等でPR）



お接待のスタート（幟）



スタッフ等一同（PR看板も）

(2) 11月13日（土）

**幻の遍路道「あずり越え」の整備。**（徳島新聞社の取材あり）

13番大日寺と18番恩山寺のショートカットコースとなる遍路道「あずり峠」。天候に恵まれた13日に整備作業を実施。

作業メンバー



作業の状況



(3) 12月11日（土）

**「親子遍路ウオーク and お接待」体験。**

長らく温めていた自主企画事業。1番霊山寺で子どもたちのお接待の体験後（徳島ユネスコ協会と共催）、4番大日寺まで親子で遍路ウオーク。（主にシングルで子育てに頑張っている方に声かけ）。



お接待（幟）



遍路ウオーク



ゴールの4番大日寺（PR 看板）

(4) 1月16日（日）

「外国出身の方の遍路ウオーク」。

「外国出身の方」と「交流を希望する人たち」が参加しての「道の駅わじき」から22番平等寺までの遍路ウオーク。ユニバーサルカフェ「つながり」のメンバーや留学生が参加。（徳島県の「みんなが主役の人権啓発推進事業」を活用）



遍路ウオーク



お接待（世界遺産化のPRも）



徳島大学モートン先生のミニ講座

(5) 1月30日（日）

「障がい者の遍路ウオーク」を計画するも、コロナ第6波により2月20日（日）に延期。しかしながら収束が見通せず、最終的に、中止となった。

(6) 2月23日（水：祝日）

四国4県「1日一斉おもてなし遍路道ウオーク」に参加

18番恩山寺から19番立江寺を経て、20番鶴林寺手前の勝浦町の道の駅までをウオーク（道の駅から鶴林寺までは、自然公園のパトロールで本年度は2回点検済み）



恩山寺を過ぎ  
ての竹林



立江寺の  
初会式

(7) 2月から3月

#### 四国のみち魅力発進協議会による「四国のみち（遍路道）現状調査」の依頼

遍路道と重複の多い「四国のみち」に関する、県の「四国のみち魅力向上協議会会長」に  
当会理事長の谷口が要請されたおり、県から「現状把握のための調査」依頼あり。

道標等はかなりの傷み具合で、「四国のみち」と「遍路道」の連携した管理を提案してき  
たが、更にその意を強くした。



案内板の傷み具合



道標（道しるべ）も損傷が激しい

(8) 3月22日（火）

四国遍路の研究をされている徳島大学モートン先生のセミナーを、ユニバーサルカフェ  
「つながり」と共同で開催する予定であったが、コロナ禍が収束を見せず5月31日に延期。

(9) 3月30日（水）

#### 歯ノ辻（はのつじ）の遍路道の「クリーンアップ」と「古道の整備」

恒例の春の歩き遍路シーズン前の「歯ノ辻（はのつじ）の遍路道のクリーンアップと古道  
の整備を実施、ゴミ22袋分を拾い、作業中は、世界遺産化の幟（のぼり）も立てて PR。

川沿いの遍路道の古道はあまり利用されていないが、昔年の面影を残すため整備を実施。



世界遺産化の幟で PR



22袋のゴミを分別処分



荒れた川沿いの古道整備